

良質米出荷・販売に向け決意を新たに

良質米出荷・販売の決意を新たに

いわて平泉米生産者大会



決意を新たにした生産者大会

一関地方良質米生産協議会は9月13日、平成29年度いわて平泉米生産者大会を開きました。農家組合長や関係機関など230人が出席。品質と食味の良い米生産に努力する決意を新たにしました。JA佐藤鉦一組合長は「異常気象で登熟の遅れが見られたが、天候の回復で生育も良くなってきた。仕上げの段階に入るが、JAへの全量出荷に協力をお願いしたい」と期待を込めました。



平成29年産米検査スタート

平成29年産米検査スタート

検査初日、全量1等米

JAは9月27日から平成29年産米の検査を開始しました。初日は一関市のJA鳴神倉庫で行い「ひとめぼれ」969袋(1袋30kg)を検査。全量1等級となり、良質米の生産へ幸先良いスタートを切りました。JAの佐藤鉦一組合長は「天候の影響で登熟と刈取り時期が遅れているが、品質は問題がないようだ。管内産米は卸業者から高評価を得ているので、買い入れ数量の確保と販売の拡大に努力していく」と意気込みました。



米の初検査にあたる吉川徳貞検査員